



2024年度 センター研究員・客員研究員・研究協力者

研究員

氏 名	所属部局	職 名	共同研究班
中林 広一（センター長）	国際日本学部国際文化交流学科	准教授	7・10
熊谷 謙介（運営委員・副センター長〈編集担当〉）	人文学研究科欧米言語文化専攻	教授	2・10
後田多 敦（事務局長〈運営委員・研究事務総括・編集担当〉）	歴史民俗資料科学研究科	教授	4・10
孫 安石（運営委員・主任研究員〈国際交流担当〉）	人文学研究科中国言語文化専攻	教授	3・7
山本 志乃（運営委員〈編集担当〉）	歴史民俗資料科学研究科	教授	8
角山 朋子（運営委員〈研究会担当〉）	人文学研究科欧米言語文化専攻	准教授	2
新垣 夢乃	国際日本学部歴史民俗学科	助教	6
内田 青蔵	工学研究科建築学専攻	特任教授	3・7
大川 啓	歴史民俗資料科学研究科	教授	6
小熊 誠	歴史民俗資料科学研究科	教授	1・4
姜 明采	建築学部建築学科	特別助教	3・7
木下 宏揚	工学研究科工学専攻電気電子情報工学領域	教授	5
須崎 文代	建築学部建築学科	准教授	3
ステファン ブッヘンベルゲル	人文学研究科欧米言語文化専攻	教授	2
角南 聡一郎	歴史民俗資料科学研究科	准教授	4
道用 大介	経営学研究科	准教授	5
細野 海人	工学部電気電子情報工学科	特別助教	5
藤澤 茜	人文学研究科日本文化専攻	准教授	9
彭 国躍	人文学研究科中国言語文化専攻	教授	3
松浦 智子	人文学研究科中国言語文化専攻	准教授	準備班
松本 和也	人文学研究科日本文化専攻	教授	9
丸山 泰明	歴史民俗資料科学研究科	准教授	4・8
水川 敬章	人文学研究科日本文化専攻	准教授	9
村井 寛志	人文学研究科中国言語文化専攻	教授	3
山口 太郎	国際日本学部国際文化交流学科	准教授	7

客員研究員

氏 名	所属部局	職 名	共同研究班
大木 康	非文字資料研究センター	客員研究員	準備班
大串 潤児	国立歴史民俗博物館	教授	6
大里 浩秋	神奈川大学	名誉教授	3
加藤 里織	非文字資料研究センター	客員研究員	4
加治 順人	沖縄県護国神社	宮司	4
川島 秀一	東北大学 災害科学国際研究所	シニア研究員	8
菊池 敏夫	非文字資料研究センター	客員研究員	3
吉川 良和	非文字資料研究センター	客員研究員	準備班
後藤 隆基	立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター	助教	9
小松原 由理	上智大学 文学部ドイツ文学科	教授	2
坂井 久能	非文字資料研究センター	客員研究員	4
嵯峨井 建	京都國學院	講師	4
佐野 賢治	神奈川大学	名誉教授	5
ジョン ボチャラリ	東京大学	名誉教授	1
菅 浩二	國學院大學神道文化学部	教授	4
田中 里奈	京都産業大学文化学部国際文化学科	准教授	2
趙 怡	関西学院大学経済学部	教授	8
津田 良樹	非文字資料研究センター	客員研究員	4
常光 徹	国立歴史民俗博物館	名誉教授	8
中島 三千男	神奈川大学	名誉教授	4
樊 可人	新潟県立大学	講師	準備班
前田 孝和	非文字資料研究センター	客員研究員	4
松田 睦彦	国立歴史民俗博物館	准教授	8
宮田 純子	芝浦工業大学 工学部	准教授	5
森山 優	静岡県立大学国際関係学部大学院	教授	6
森住 哲也	非文字資料研究センター	客員研究員	5
安田 常雄	国立歴史民俗博物館	名誉教授	6

研究協力者

氏 名	所属部局	職 名	共同研究班
稲宮 康人	—	写真家	4
伊良波 賢弥	那覇市市民文化部文化財課	会計年度任用職員	4
岡田 伊代	非文字資料研究センター	研究協力者	8
郭 夢垚	外国語学部中国語学科	特別助手	3
金丸 壽男	非文字資料研究センター	研究協力者	7
邱 昱翔	大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター	研究員	6
小松 大介	沼津市歴史民俗資料館	臨時嘱託職員	5
小山 亮	広島平和文化センター	研究員	6
鈴木 一史	埼玉県立文書館	学芸員	6
田島 奈都子	青梅市立美術館	主査 学芸員	3
富井 正憲	金星総合建築士事務所	理事	3
富澤 達三	松戸市立博物館	学芸員	6
原田 広	非文字資料研究センター	研究協力者	6
包 慕萍	大和大学理工学部	准教授	3
松本 和樹	横浜都市発展記念館	調査研究員	6
松山 紘章	歴史民俗資料科学研究科	博士後期課程	4
Louis CANALES	エクス・マルセイユ大学／IrAsia 研究所	博士課程	4

共同研究班：1. 『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』編集共同研究
 2. 世紀転換期ヨーロッパのメディア・身体・ジェンダー
 3. 東アジア開港場（租界・居留地）における都市の発展と建築調査
 4. 近現代日本の祭祀空間と海外神社
 5. 非文字資料の研究とその成果の利用の過程における検索とマイニング、セキュリティ、著作権管理に関する研究

6. 戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究
 7. 海とみなとの運河研究—横浜とアジアの運河
 8. 近現代日本の宿（ヤド）の体系化に関する研究
 9. 芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術
 10. 非文字資料を問い直す—非文字資料をめぐる可能性と課題
 準備班 中国の生活・文化と身体表現

2024年度 奨励研究採択者決定

研究課題	氏名（所属）
大山版木の悉皆調査による大山御師の非文字資料的研究	呉 珂（歴史民俗資料科学研究科歴史民俗資料学専攻博士後期課程）
南部杜氏が居住する八重畑地区の民俗調査	丹羽 英二（歴史民俗資料科学研究科歴史民俗資料学専攻博士後期課程）
日本刺し子とモンゴル刺繍の民俗学的比較研究	木 其尔（歴史民俗資料科学研究科歴史民俗資料学専攻博士後期課程）
錫林郭勒（シリンゴル）地域牧区現代民具の現状調査研究	鄧 晶晶（歴史民俗資料科学研究科歴史民俗資料学専攻博士後期課程）

主な研究活動

研究会・展示

2023 年度

研究班研究会

- ・第6班 戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究
 2024年2月23日（金・祝）—公開研究会 対面＋Zoomのハイフレックス開催
 戦時下紙芝居と現代人形劇の交差点

展示

- ・【写真展】「神国」の残影
 会 場：みなとみらいキャンパス1階プロムナードエリア
 会 期：2024年1月10日（水）～1月27日（土）
- ・川崎市平和館ミニ企画展（非文字資料研究センター協力）
 会 場：川崎市平和館 屋内広場
 会 期：2024年1月7日（日）～2月12日（月）
- ・【MMC】図書館特設コーナー「あなたの知らない非文字資料の世界 #非文字見つけた #それも非文字!？」
 会 場：みなとみらいキャンパス図書館2階フロア
 会 期：2023年11月16日（木）～2024年1月31日（水）
- ・関東大震災100年パネル展示 同潤会がめざした 理想的な住まいと住環境～新しい都市と郊外の暮らし～



会 場：横浜キャンパス 3 号館企画展示室
会 期：2023 年 9 月 1 日（金）～9 月 22 日（金）

会 場：みなとみらいキャンパス 1 階プロムナードエリア
会 期：2023 年 11 月 21 日（火）～12 月 15 日（金）

2024 年度

研究班研究会

- ・第 3 班 東アジア開港場（租界・居留地）における都市の発展と建築調査
2024 年 5 月 10 日（金）—第 88 回研究会
「韓国風の教会建築を語る—韓屋と西洋の出会い」 富井正憲（客員研究員）
- ・第 6 班 戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究
5 月 12 日（日）—共同研究班研究会「KU 国策紙芝居展示プロジェクト学生報告」
7 月 20 日（土）—共同研究班研究会
報告：清水智世（京都文化博物館）、弘中智子（板橋区美術館）
- ・第 7 班 海とみなとの運河研究—横浜とアジアの運河
2024 年 2 月 3 日（土）—共同研究班研究会「堀割川と港都横浜」 木村芳幸
2024 年 6 月 22 日（土）—共同研究班研究会「水上ホテルに見る戦後占領期横浜の景観の変化—1940～1950 年代の大岡川を事例に—」 松本和樹
- ・第 8 班 近現代日本の宿〈ヤド〉の体系化に関する研究
2024 年 6 月 23 日（日）—共同研究班研究会
報告 1. 「景観と生業が交錯するヤド—大山の先導師旅館と先導師コミュニティ—」 呉珂
報告 2. 「スキー旅館の盛衰史—新潟県南魚沼郡湯沢町の事例を中心として—」 丸山泰明

展示

- ・「川合安平上海写真コレクション」の世界—写真展
会 場：横浜キャンパス 3 号館企画展示室
会 期：2024 年 5 月 23 日（木）～6 月 16 日（日）

会 場：みなとみらいキャンパス 1 階プロムナードと展示・体験エリア
会 期：2024 年 6 月 26 日（水）～7 月 6 日（土）

現地調査

2023 年度

調査テーマ	日程	場所	調査メンバー
戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究	2023 年 4 月 21 日～23 日	鎌田共済会郷土博物館、他	新垣夢乃・大串潤児・小山亮
近現代日本の祭祀空間と海外神社	2023 年 4 月 21 日～24 日	沖縄県立図書館、他	加藤里織
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2023 年 5 月 22 日～23 日	八戸市美術館・十和田市現代美術館	松本和也
東アジア開港場（租界・居留地）における都市の発展と建築調査	2023 年 5 月 27 日～28 日	海の見える杜美術館	孫安石
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2023 年 7 月 11 日～12 日	金沢 21 世紀美術館、他	松本和也
戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究	2023 年 8 月 3 日	日本女子大学成瀬記念館	新垣夢乃・大串潤児・松本和樹
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2023 年 8 月 25 日～27 日	大阪府立上方演芸資料館	水川敬章
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2023 年 9 月 8 日～11 日	立命館大学朱雀キャンパス	水川敬章
国立台湾歴史博物館への表敬訪問	2023 年 9 月 14 日～17 日	国立台湾歴史博物館、他	後田多敦・安田常雄・新垣夢乃・大串潤児・鈴木一史・中村裕史
東アジア開港場（租界・居留地）における都市の発展と建築調査	2023 年 9 月 18 日～21 日	ソウル歴史博物館、他	孫安石
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2023 年 9 月 23 日～24 日	静思堂シアター・京都国立近代美術館	松本和也
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2023 年 11 月 3 日～5 日	大阪府立上方演芸資料館	水川敬章

関東大震災（シンポジウム）調査	2023 年 11 月 25 日～26 日	祐生出会いの館	北原系子
海とみなとの運河研究—横浜とアジアの運河	2023 年 12 月 8 日	大岡川・中村川（クルーズ）	山口太郎・内田青蔵・姜明采・孫安石・金丸壽男・松本和樹・泉水英計
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2023 年 12 月 10 日	上田市屋の角	松本和也
戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究	2023 年 12 月 14 日～16 日	茨城県教育図書館・筑波海軍航空隊記念館、他	新垣夢乃・大串潤児・松本和樹
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2024 年 1 月 21 日～22 日	松本市美術館、他	松本和也
戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究	2024 年 2 月 13 日～15 日	ソウル国立現代美術館、他	新垣夢乃・大串潤児・松本和樹・中村裕史
世紀転換期ヨーロッパのメディア・身体・ジェンダー	2024 年 2 月 15 日～27 日	オーストリア、ウィーン	角山朋子
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2024 年 2 月 20 日	斎藤茂吉記念館	松本和也
近現代日本の祭祀空間と海外神社	2024 年 3 月 1 日～4 日	奄美大島調査	加藤里織・中島三千男 津田良樹・菅浩二・伊良波賢弥
戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究	2024 年 3 月 5 日～9 日	三豊市文書館・鎌田共済会郷土博物館・てづくり紙芝居館	新垣夢乃・小山亮・鈴木一史
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2024 年 3 月 12 日	イルフ童画館	松本和也
東アジア開港場（租界・居留地）における都市の発展と建築調査	2024 年 3 月 12 日～14 日	長崎出島和蘭商館・長崎県立大学・軍艦島	孫安石
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2024 年 3 月 12 日～16 日	大阪府立上方演芸資料館	水川敬章
海とみなとの運河研究—横浜とアジアの運河	2024 年 3 月 13 日～14 日	神戸大学附属図書館	中林広一
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2024 年 3 月 17 日～19 日	ぎふ清流文化プラザ・常盤座・楽生館・中津川市中山道歴史資料館、他	藤澤茜
東アジア開港場（租界・居留地）における都市の発展と建築調査	2024 年 3 月 24 日	国立民族学博物館	孫安石
近現代日本の宿〈ヤド〉の体系化に関する研究	2024 年 3 月 25 日～27 日	高浜町旧北村旅館・高浜まちなか交流館、他	山本志乃・丸山泰明・安室知・常光徹・川島秀一・趙怡・岡田伊代

2024 年度

調査テーマ	日程	場所	調査メンバー
戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究	2024 年 5 月 2 日～6 日	国立台湾芸術大学、他	新垣夢乃・大串潤児・邱昱翔
芸術表現における声と身体をめぐる基礎的研究—舞台芸術・古典芸能・現代美術	2024 年 6 月 16 日	三越劇場	後藤隆基
東アジア開港場（租界・居留地）における都市の発展と建築調査	2024 年 7 月 12 日～16 日	広州外国語大学・農民工博物館・小北地区	孫安石・冨井正憲・包慕萍